Scorpion DC
Scorpion DC7

取扱説明書

SHIMANO

このたびはシマノスコーピオン DC をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
スコーピオンDC は、グローバルスタンダードとしてのサイズで精度・信頼性とキャスタビリティーの究極を追求しました。
また、淡水のみならず海での使用も可能とするために、S A-RB をはじめとする耐蝕性の高い部品で構成されています。
スコーピオンDC の機能を十分に引き出し末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ　北海道営業所
〒001-0925　札幌市北区新川5条1-3-50　TEL.(011)716-3301
株式会社シマノ　仙台営業所
〒983-0043　仙台市宮城野区萩野町2-17-10　TEL.(022)232-4775
株式会社シマノ　埼玉営業所
〒362-0043　埼玉県上尾市西宮下3-194-1　TEL.(048)772-6662
株式会社シマノ　東京営業所
〒143-0013　東京都大田区大森南1-17-17　TEL.(03)3744-5656
株式会社シマノ　静岡営業所
〒410-0807　静岡県沼津市錦町674　TEL.(055)962-3983
株式会社シマノ　名古屋営業所
〒454-0012　名古屋市中川区尾頭橋2-6-21　TEL.(052)331-8666
株式会社シマノ　大阪営業所
〒590-8577　大阪府堺市堺区老松町3-77　TEL.(072)223-3920
株式会社シマノ　中国営業所
〒700-0941　岡山市南区青江6-6-18　TEL.(086)264-6100
株式会社シマノ　四国営業所
〒768-0014　香川県観音寺市流岡町1496-1　TEL.(0875)23-2220
株式会社シマノ　九州営業所
〒841-0048　佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6　TEL.(0942)83-1515
シマノセールス株式会社　釣具サービス課
〒592-8331　大阪府堺市西区築港新町1-5-15　TEL.(072)243-2851

株式会社シマノ釣具事業部
本　社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地
●商品の性能・スペック、カタログ、イベントや
　アフターサービスなどに関するお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-861130（ハローイイサオ）
フリーダイヤルをご利用できない方は 072-243-8538（有料）をご利用下さい。
受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00（土･日･祝日除く）
■シマノホームページ アドレスは http://www.shimano.com です。
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。
■シマノi-mode情報 アドレスは http://fishing.shimano.co.jp/i/ です。

Printed in Japan　(110329)　038

■ 各部の名称と特徴　※ライトハンドルのイラストで説明しています。

■錆 / 塩噛みに強いボールベアリング　シールドタイプ S A-RB 内蔵

S A-RB は従来の A-RB の側面に防錆素材（ハンドルノブ・ドライブギア軸はラバータイプも採用）でシーリングし、塩分の浸入を減少。A-RB 処理によるベアリングの防錆性はもちろん、ベアリング内部に浸入した塩分の結晶化による " 塩噛み " をも減少させ、ソルトウォーターでの使用をさらに快適なものにしています。

■スーパーストッパー II

ハンドルをどの位置で止めてもピタッと逆転が停止します。
気になるガタつきもなく、フッキング時のタイムロス、パワーロスを防ぎます。

■スタードラグ

ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラグが締まります。カーボンワッシャの採用で耐水性とスムーズさを向上させています。

■マグナムライトスプール＋スーパーフリー

超々ジュラルミンの強度を生かしスプールを可能な限り軽量化。慣性力が少なく、軽い回転の立ち上がりを実現しています。軽いルアーのキャスティングやピッチング、ひいては超遠投性能も向上させました。エッジが極限まで薄くなっておりますので、手を切らないようご注意ください。

■クイックファイア II

クラッチフリー操作と同時にスプールをサミングできるシステムです。ムダな操作がなくなり、チャンスを逃がさずにキャストできます。

■I−DC+

I−DC4 で培ったオートマチックなブレーキ調整をさらに進化させ、ほとんどの状況でアングラーによるブレーキ調整を不要としました。また、PEやナイロンライン、フロロカーボンラインをより快適に使用するため、それぞれに最適なブレーキを内蔵。I−DC4と DC+ の長所を融合させたあらゆる状況に対応する新しい DC です。

■メカニカルブレーキノブ

メカニカルブレーキノブはスプールの回転にブレーキをかけるものです。右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくと、そのブレーキは弱くなります。
DCブレーキ搭載リールではスプールのガタつきがない程度に弱い調整でご使用ください。
詳しい調整方法は下記をご覧ください。

■42mm ロングハンドル

■右(または左)ハンドル専用形状・S A-RB 入りハンドルノブ

右手（左ハンドルは左手）でつまむことを前提とした、異形状でフィット感の向上と疲労を軽減。ノブには S A-RB を各 1 個内蔵しています。

■スーパーシップ+ハイスピードギア 7:1（超高強度真鍮大径ドライブギア搭載）

S A-RB をスプール軸 3 個・ハンドルノブ各 1 個・ドライブギア軸に 1 個搭載することにより、さらにスムーズで軽い巻き上げが可能になりました。
（※ハイスピードギアは DC7/DC7LEFT のみ）

Super SHIP

■ロープロファイルボディ

パーミング性、キャスティング性能に求められる形を追求し、設計されています。

■ 仕様

機種名	商品コード	製品コード	ギア比	最大巻上長(cm/ハンドル1回転)	標準自重(g)	最大ドラグ力(N/kg)	ベアリング数(S A-RB/ローラー)	糸巻量(号-m)
Scorpion DC右	02704	5RH690000	6.3:1	67	205	44.1/4.5	6/1	3-130 3.5-110 4-100 5-80
Scorpion DC左	02705	5RH691000						
Scorpion DC7右	02706	5RH692000	7.0:1	75				
Scorpion DC7左	02707	5RH693000						

■ナイロン糸の標準直径 (m/m)　※銘柄により太さ表示は異なる場合があります。
3 号 (12lb) -φ0.285　3.5 号 (14lb) -φ0.310　4 号 (16lb) -φ0.330　5 号 (20lb) -φ0.370
■製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
■スコーピオン DC ではベアリングに新設計のシールドタイプ S A-RB を採用。従来の A-RB の側面に防錆素材（ハンドルノブ・ドライブギア軸はラバータイプも採用）でシーリングし、塩水の浸入を減少。A-RB 処理によるベアリングの防錆性はもちろん、ベアリング内部に浸入した塩分の結晶化による“塩噛み”をも減少させ、ソルトウォーターでの使用をさらに快適なものにしています。
■標準付属品　取扱説明書・分解図・オイル

■ I−DC+ について

●扱いやすさと飛距離のトータルバランスをめざした I-DC+

スコーピオンDC に搭載された I-DC+ は、I-DC4 と DC+ の長所を融合させたオートマチックな DCブレーキシステムです。
また、使用するラインによって 3 種類のモードダイヤルを設置。それぞれに最適なプログラムを選べます。I-DC+ は釣行時のブレーキ設定にかかる時間と手間を短縮し、超実践派アングラーのみなさんの快適な釣りをサポートします。

※従来の DC システムと異なり電子音を無くす機構を採用しております。キャスト時に電子音が 鳴らなくても故障ではございません。

●オートマチック性能

I-DC4 で培ったオートマチックなブレーキ調整をさらに進化させ、ほとんどの状況でアングラーによるブレーキ調整を不要としました。
風やルアーに関係なく、アングラーはキャストしたい方向にキャストするだけ。空気抵抗の大きなルアーを使用した場合や逆風時には、DC システムが最適なブレーキコントロールを行い、バックラッシュすることなく飛距離を伸ばします。空気抵抗の小さなルアーや追い風の場合には DC システムが瞬時に判断し最小ブレーキにて飛距離を伸ばします。

■ モードダイヤルについて　※ライトハンドルのイラストで説明しています。

●デジタルコントロールブレーキダイヤル

右記の 3 パターンのブレーキモードの選択が可能です。

■ I−DC+ の設定について

●モードダイヤルの設定について

DC+ 譲りのモードダイヤル（I-N、I-F、I-P）はラインの種類によってプログラムを切り替えます。

I-N は 14lb のナイロンラインを基準にセッティング。
お好みによってはフロロカーボンラインでメタルバイブ等の超遠投時にも使用可能です。3 種類のモードの中で、最も弱いブレーキセッティングです。

I-F は 14lb のフロロカーボンラインを基準にセッティング。
お好みにより強風向かい風の状況でナイロンラインや PEライン使用時にも使用できます。比重の重いフロロカーボンラインを使用したあらゆる状況でのキャスティングに対応し、飛距離を伸ばします。

I-P は 2.25 号の PowerPro ラインを基準にセッティング。
これまでベイトリールでのキャスティングが難しかった PEラインを、DCならではの緻密な制御でコントロールします。
また、ナイロンラインで強風向かい風の場合やバズベイト等の投げにくいルアーを投げる場合にもバックラッシュを制御し飛距離を伸ばします。

●メカニカルブレーキノブの設定方法

DCブレーキを搭載したリールでは、メカニカルブレーキの設定方法が従来のブレーキシステムとは異なります。

通常はスプールが軸方向にガタつかない程度にゆるめてお使いください。メカニカルブレーキを必要以上に締め付けると、DCシステムが本来の性能を発揮できません。
ただし、想定以上の強風条件などではメカニカルブレーキを締め付ける必要があります。

■ より快適にデジタルコントロールブレーキを使用して頂く為の注意点

●糸の重さによる慣性、惰性
糸の種類により比重が大きく異なります。フロロカーボンラインではスプール回転の立ち上がりが遅く、逆に回転の惰性が長引くため、ルアーが減速を始めた段階でのオーバーランを引き起こしやすくなります。(簡単に言えば、重いスプールを使っている状態に近くなります。)
そのためナイロンライン使用時にはI−N を基準に、フロロカーボンライン使用時には、I−F モードに切り替えて使用し、感覚をつかんでから他モードへ切り替えてください。

●糸巻き量、スプール回転数
ブレーキセッティングはフルライン（スプールの 95% 糸巻き量）の状態を前提に作られています。これより糸巻き量が少ない場合は、スプールの回転数が上がりやすくなるため、ブレーキが強く効きすぎる場合があります。糸巻き時には、スプールのテーパー面のエッジ(右記 ●糸巻量のご注意 図参照)に合わせた糸巻き量でご使用下さい。

●糸の太さ、スプール回転数
糸の太さによって、キャスティング時のスプール回転数の下がり方が異なります。同じ糸巻き状態で同じ速度でルアーが飛んでいる場合には糸が太いほうがスプール径が早く痩せ、スプール回転数は多くなります。そのため、太い糸のほうが理論的にはブレーキが強くかかりやすい傾向があります。

●ベアリングの回転状態、汚れ
スコーピオン DC のブレーキプログラムは汚れのないスムーズな回転状態のベアリングで設定されています。汚れ、オイル切れ等の回転状態の悪いベアリングを使用した場合はブレーキが効きすぎるように感じる場合がありますのでご注意下さい。（多少のベアリング汚れ等であれば、ブレーキを若干緩めることで対処できます。）

●風向、風力
風向と風力によってルアーの飛びは大きく影響を受けます。特に真正面からの向かい風は、ルアー、ラインに大きな影響を与えます。

●糸巻量のご注意
ブレーキ設定はスプールのテーパー面のエッジ（右図矢印）までの糸巻量で行っています。それよりも多く巻くとブレーキの効きは弱くなり、少なく巻くと強くなります。

テーパー面の
エッジ

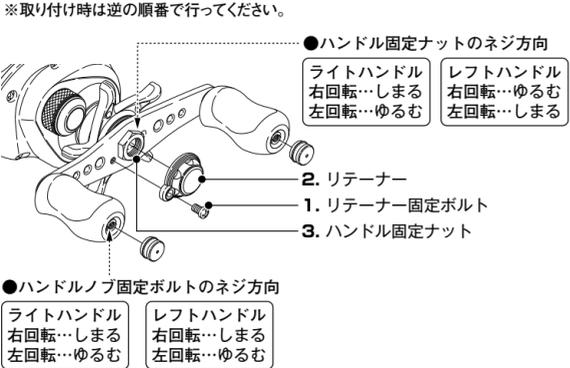
※高速リトリーブ中や低速キャストの場合に DC ブレーキの作動音がする場合が有りますが、故障ではありません。
※当製品に糸を巻き始める際はブランキング穴に糸を通さないでください。
デジタルコントロールブレーキユニットに糸が接触する場合があります。

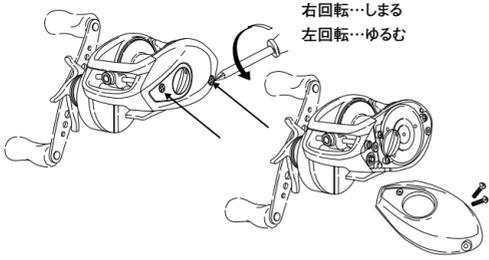
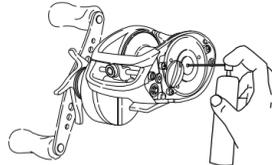
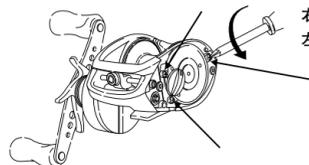
■ ハンドル着脱時のご注意

ハンドルの着脱をされる場合は次の手順で行ってください。
※ライトハンドルのイラストで説明しています。
1. リテーナー固定ボルトを外す。
2. リテーナーを外す。
3. ハンドル固定ナットを市販の10mmメガネレンチで外す。
※取り付け時は逆の順番で行ってください。

■安全上の注意

ご使用前に必ずお読みください。

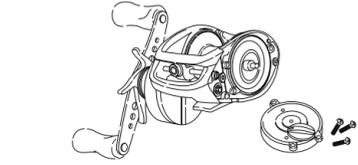
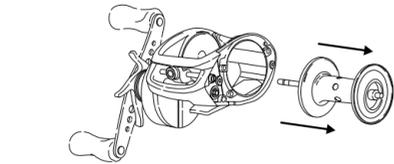
⚠ 注 意	
	●ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
	●糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。 ●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。
	●回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。

■ スプールを取り出す際の分解方法

※ライトハンドルのイラストで説明しています。
1. 本体 B のネジを 2 本ゆるめサイドプレートを取り外します。

3. さらに分解される場合には、矢印の 3 点のネジを緩めてください。

4. デジタルコントロールブレーキユニットが外れます。

5. スプールを抜き取ります。

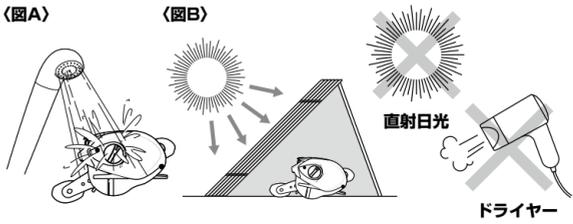
分解時のご注意
・DCブレーキユニット、スプールを取り外した際のお取り扱いには十分にご注意ください。
・分解の際はネジの幅にあったドライバーをお使いください。
・組付けの際はあまり強く締めすぎますと本体やネジを痛める場合がありますのでご注意ください。
・電子部品は、全て DCブレーキユニット（本体枠 B 受）の内部に取り付けられています。

コーティング部分へ当社指定オイル以外のオイル、溶剤等が付着しないようご注意ください。

・本体枠 B 受に装着されているコイル（右図）に力を加えないようご注意ください。変形するとトラブルの原因になります。
・本体枠 B 受から電子部品を__絶対に取り外さないでください__。取り外された後の性能保証はいたしかねますのでご注意ください。

■ メンテナンス方法　※ライトハンドルのイラストで説明しています。

■海での使用後のご注意
スコーピオンDC は海での使用を前提とした防錆処理を加えていますが、より長く性能を維持するため、以下のことにご注意下さい。

●リールに付着した塩分、ゴミ等は真水に浸した柔らかい布できれいに拭き取って十分に乾燥させて下さい。いちじるしく海水が浸入したと思われる場合は、当社アフターサービスへオーバーホールとしてお預けいただくことをおすすめします。

■海での使用後の基本的なメンテナンス順序
1. 水洗い…ドラグをしめ込んでから、シャワー等の真水で 1～2 分間水洗いしてください。〈図 A〉スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくとさらに効果があります。※温水はグリスを洗い流す可能性があるのでお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。
2. 乾燥…ドラグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。〈図 B〉※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。
3. オイル注油…後記「オイル注油箇所」の図で示す部分に、ごく少量オイルを注油してください。付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。

●お願い
・リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく異なります。回転時のゴロつき、引っ掛かりの症状が出た場合は、__直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に 1 度はお預けいただくこと__をおすすめいたします。__最寄りの小売店__にてお受けしております。
・リールを水没させ数時間放置しますと、ドラググリスが水に流れ出てしまいます。ご留意ください。
・オイル、グリス類は__当社指定のもの__（SP-003H、SP-013A、SP-023A）をお使いください。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご留意ください。
・釣行後は竿にセットしたままにせず、リールをはずして水洗いしてください。竿にセットした状態で水洗いされましても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流せない事がしばしばあります。
・ハンドルグリップには滑りにくい樹脂素材を採用していますが、油によって膨潤する場合があります。ベアリングのメンテナンスの際には、なるべく油分（バンタムオイルなど）が付かない様にご注意下さい。また油分が付着した場合には、速やかに拭き取って下さい。
・S A-RB（シールド耐塩水ベアリング）は錆び難いベアリングです。ベアリング内部に塩水が侵入する（塩噛み）のを防ぐものではありません。

●ベアリングの塩噛みについて
基本的なメンテナンスを怠ると、ベアリング内部に塩水が残り、乾燥して塩噛みを起こす恐れがあります。錆びている訳ではありませんが、同様に音鳴り、ゴロ付き等の症状が出ます。乾燥した塩を払拭する事は殆ど出来ません。例え S A-RB であっても、完全な解消方法はベアリングの交換しかありません。ご注意下さい。

■水没した際の応急処置
1. 水抜き…内部に浸入した水を抜いてください。
2. 水洗い…前記「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
3. 乾燥…前記「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
4. オイル注油…後記「オイル注油箇所」をご参照ください。オイルの付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。※長く噴霧させると逆流します。__決してグリススプレーは使用しないでください。__

●お願い
__以上はあくまで応急処置です。不意に水没された場合は、できるだけ早く当社のメンテナンスを受けられるよう、最寄りの小売店にお預けください。__
※メンテナンス価格はおおよそ ¥3,500 プラス部品代になりますが、状態によって異なります。

■オイル噴霧箇所
スコーピオンDCの優れた性能を長く維持するために、図の※印の箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールメンテスプレー（セット）SP-003H のオイルスプレー、シマノリールオイルスプレー SP-013A をまちがえないように噴霧してください。（シマノ以外のオイルは使用しないでください。）オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラグ部にはオイルは注さないでください。
※キャストコントロールツマミの再取り付け時にはネジ山をつぶさない様、確実にネジ山がかみ合ったことを確認の上、ねじ込んでください。

■ リールのお取り扱いの注意

リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

●ご使用上の注意
砂、泥はリールの大敵です。ご使用中、リールを砂地に直接置いたり海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や海水が入ると、思わぬトラブルの原因となることがあります。
根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。
船べりの穴に竿とリールをセットされた状態で、立てかける際、激しくリールを船べりに当てますと、リール本体がひずむ可能性がありますので、ご注意ください。

●お手入れの方法
シャワー等の真水でリールに付着した塩分、砂、汚れを水洗いした後、影干しして十分乾燥させてください。温水やリール本体の水没はグリスを洗い流す恐れがありますのでお避けください。
また、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。ドラグ部分には、絶対にオイルをつけないでください。オイルが入ると、ドラグ力が低下することがあります。
高温、高湿の状態で長時間放置しますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存する場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存するようにしてください。
ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようにご注意ください。
リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

●修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストッパーが働かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

●ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお薦めします。（例／製品名：ステラ 1000S　商品コード：02425　製品コード：SD83B012　部品番号：2　部品名：スプール）

●弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後 6 年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後 6 年以内でも供給できない可能性がございます。

●商品コード / 製品コードの位置
取扱説明書・分解図・パッケージ底面部もしくは側面部に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。

Scorpion DC
Scorpion DC7